

月報だより

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1)所属部門・所属講座、(2)勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1)着任時期、(2)任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1)提出先、(2)問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

東北大学理学研究科天文学専攻教員公募

1. 教授 1名
2. (1)東北大学 理学研究科 天文学専攻
(2)仙台市青葉区荒巻字青葉
3. 天文学
5. (1)決定後なるべく速い時期
7. ①履歴書、②これまでの研究の概要と今後の抱負、③論文リスト、④主要論文別刷り（5編以内）
8. 1994年10月31日（月）必着
9. (1)、(2) 〒980-77 仙台市青葉区荒巻字青葉
東北大学理学部天文学教室 主任 土佐 誠
電話：(022) 222-1800 内線 3318
10. 応募書類は簡易書留で送付のこと

名古屋大学太陽地球環境研究所教官

1. 助教授または助手 1名
2. (1)太陽圏環境部門
(2)豊川市
3. 惑星間空間物理学の観測的研究。
4. 当研究部門では、惑星間空間シンチレーションを利用した太陽風の観測、太陽中性子の観測、宇宙線変動観測、宇宙ガンマ線の研究等を行っています。今回の公募では、太陽風の観測プロジェクトに参加し、現研究スタッフや技術スタッフと協力して、太陽風及びその関連する領域の研究を推進できる意欲的な方を希望します。

中期的な研究計画では太陽風観測プロジェクトに参加して頂きますが、長期的な計画として惑星間空間シンチレーション以外のものを推進されることも歓迎いたします。

全国共同利用研究所としての当研究所の任務を充分に理解し、当該部門の研究に積極的な役割を果たす方を希望します。当研究所は、理学研究科及び工学研究科の大学院生を受け入れており、大学院教育に熱心な方であることも希望します。

5. 決定後できるだけ早い時期。
6. 助教授については、博士の学位を有する人。助手については、大学院修士課程修了またはそれと同等以上の人。
7. 応募するポスト名(助教授、助手)が明記された応募用紙。
履歴書、研究歴、業績リスト、主要論文別刷り、研究計画書。
自選の場合は、本人についての意見を述べられる方2人の氏名と連絡先、他薦の場合は2人からの推薦書。
8. 平成6年10月31日(月)
9. (1)〒442 愛知県豊川市穂ノ原3-13
名古屋大学太陽地球環境研究所
所長 國分 征
(2)同研究所 國分 征、小島正宜
Tel 05338-6-3154
Fax 05338-4-8806
11. 選考方法
名古屋大学太陽地球環境研究所人事選考委員会の選考に基づき、同運営協議会の意見を求めて同教授会で決定します。なお、該当者がいない場合は決定を保留します。

九州大学理学部地球惑星科学科教官

1. 助手 1名
2. 理学部地球惑星科学科
3. 太陽・惑星科学分野(太陽物理学、惑星探査、惑星間空間物理学、地球惑星物理学、地球惑星化学など)
4. 基礎物理学実験・演習
5. 決定後、なるべく早い時期
7. ①履歴書(所属学会、学位論文題目(予定を含む)なども記入)②研究業績リスト：著者名は原論文のまま、主要論文1～2編(投稿予定原稿可)に○印をつける③印をつけた論文の別刷各4部④研究歴(1000-2000字)⑤研究計画、抱負(1000-2000字)⑥応募者について参考意見を述べることでできる人(2～3名程度)の氏名、連絡先。推薦書を添付する場合は、推薦者の連絡先。
8. 平成6年11月4日(金)必着
9. (1)〒812 福岡市東区箱崎6-10-1
九州大学理学部地球惑星科学科 学科長 高岡宣雄
(2)九州大学理学部地球惑星科学科 北村泰一
電話 092-641-1101 内線 4157
10. 封筒表に「地球惑星科学科 助手応募(太陽・惑星科学分野)書類」と朱書き、書留にて郵送して下さい。

公募結果

国立天文台位置天文・天体力学研究系教員

- 1. 掲載号 1993年12月号
- 2. 結果
 - 1) 氏名 高橋竜太郎
 - 前所属 宇宙科学研究所研究生
- 3. 着任時期 1994年6月1日

東京都立大学理学部物理学教室教員

- 1. 掲載号 1994年1月号
- 2. 結果
 - 1) 氏名 政井邦昭
 - 前所属：核融合科学研究所

筑波大学物理学系教員

- 1. 掲載号 1994年2月号
- 2. 結果
 - 1) 氏名 中本泰史
 - 前所属：日本学術振興会特別研究員
- 3. 着任時期 1994年6月1日

研究会・集会案内

第5回 光赤外ユーザーズミーティング

今年度の光赤外ユーザーズミーティングを下記の要領で開催致します。ふるって御参加下さい。

集会名：第5回 光赤外ユーザーズミーティング

主催：国立天文台

東京大学理学部天文学教育研究センター

後援：光学天文連絡会

日時：1994年9月20日(火)～9月22日(木)

会場：国立天文台 講義室

内容：9月20日 午後 木曾観測所セッション

9月21日 午前 堂平観測所セッション

9月21日 午後 岡山天体物理観測所セッション

9月22日 午前 岡山セッション続き

9月22日 午後 「すばる時代の岡山を考える」

問い合わせ先：

〒719-02 岡山県浅口郡鴨方町

国立天文台 岡山天体物理観測所

吉田 道利

TEL 08654-4-2155 FAX 08654-4-2360

e-mail yoshida@kibi.oao.nao.ac.jp

世話人：吉田道利(代表) 岡山天体物理観測所

青木 勉 木曾観測所

菊池 仙 堂平観測所

**大型望遠鏡が目指す天文学と天文工学の最前線
—21世紀の大型望遠鏡の観測装置**

Scientific and Engineering Frontiers for 8-10m Telescopes—Instrumentation for Large Telescopes in the 21st Century—

8～10m級の大型光学赤外線望遠鏡の計画が相次いで出され、現在幾つかの建設が進行中である。このたびの研究会では、それらの望遠鏡を中心として展開されるであろう観測的研究のテーマをレビューし、またこれらの研究を可能にする新しい観測装置のアイデアを紹介する。各セッションの冒頭にサイエンスのレビューを行い、続いて関連する装置計画の発表と議論を行う。ポスターや、開発中の観測装置などの実物展示による発表も行われる。

開催日 1994年10月4日(火)～6日(木)

会場 早稲田大学 国際会議場 井深ホール

(東京都新宿区)

プログラム内容

大型望遠鏡計画の進捗状況及び観測装置計画の紹介、可視光の撮像・測光・分光による観測テーマと装置の具体的な計画、赤外の撮像・測光・分光による観測テーマと装置の具体的な計画、高解像撮像・アダプティブオプティクスによる観測テーマと装置計画、データの取得と解析

主催 国立天文台

後援 文部省、天文研連、日本天文学会

参加申込 8月31日締め切り

問合せ先 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台 ファックス 0422-34-3608

E-mail：subaru@optik.mtk.nao.ac.jp

家 正則 電話 0422-34-3703

西村徹郎 電話 0422-34-3705

研究助成

平成7年度 笹川科学研究助成について

標記の募集要項が天文学会にきておりますのでお知らせします。

対象：人文学・社会科学及び自然科学(医学を除く)、または境界領域の研究計画に関するもの。

研究期間：平成7年4月以降に着手し、平成8年3月15日までに終了し、まとめられる研究とする。

助成額：1研究課題あたり年間100万円以内。

- 資格：(1)平成7年4月1日 現在の大学院生。
 (2)研究教育機関に於て研究活動に従事する者
 (3)平成7年4月1日現在35歳以下の者。

募集期間：平成6年9月1日～10月末日

申請様式問い合わせ先：

(財)日本科学協会 笹川科学研究助成係

〒105 東京都港区虎ノ門2-9-16

日本消防会館 3F

FAX：03-3580-8157, TEL：03-3502-1931

平成5年度(第11回)井上學術賞候補者募集について

井上科学振興財団より本会あて下記要項で推薦依頼がありました。希望者は天文学会までご連絡下さい(学会締切は9月8日(木))

1. 候補者の対象

自然科学の基礎的研究で業績が特に顕著なもの。ただし、研究者の年齢が平成6年9月20日現在で満50歳未満のものに限る。

2. 学術賞

賞状・メダル及び副賞200万円、5件以内。受賞者は原則として1件について一人とします。特に複数であることを必要とするときは、それらの研究者の寄与が同等であることを示してください。ただしその場合も1件とする。

3. 学会からの推薦件数は1件です。

4. 贈呈期日は平成7年2月6日(月)の予定。

1995年度「女性科学者に明るい未来をの会・猿橋賞」の受賞候補者及び研究助成候補者の推薦依頼

「女性科学者に明るい未来をの会」から標記の依頼が届いております。詳細は学会事務室までお問い合わせ下さい。
猿橋賞

1. 本賞は自然科学の分野で、顕著な研究業績を収めた女性科学者(ただし、下記の推薦締切日で50歳未満)に贈呈します。

2. 本賞は賞状とし、副賞として賞金(30万円)をそえます。

3. 本賞の贈呈は1年1件(1名)です。

4. 所定の用紙に受賞候補者の推薦対象となる研究題目、推薦理由(400字程度)、略歴、主な業績文献リスト、及び、主な論文別刷10編程度をそえて、本会事務所までお送りください。

5. 学会締切は1994年11月21日(必着)。

6. 第15回の賞贈呈式は、1995年5月、東京において行なう予定です。

研究助成

1. 海外のシンポジウム等に出席し、論文を発表する女性研究者に対し、研究助成をいたします。
2. 助成金は1件10万円とし、年に数件とします。
3. 所定の用紙に推薦対象者(各締切日において満40歳未満)の略歴、研究業績、国際会議名(主催団体、開催場所、年月日)、発表論文題目、推薦理由等を記入して、本会事務所までお送りください。
4. 学会締切は1994年11月21日と、1995年4月20日の2回。

女性科学者に明るい未来をの会

〒166 東京都杉並区高円寺北4-29-2-217

電話 03-3330-2455

(FAX 兼用)

会務案内

理事会だより

日時：平成6年7月10日(日)13時30分～16時30分

場所：国立天文台講義室

出席：泉浦、井上、戎崎、大橋、尾中、亀谷、唐牛、小杉、西城、沢、常深、長田、中野、羽部、半田、福島、渡邊。(高地)

議長：内田理事長

前理事会以降の会務報告

1. 天文研連委員選挙が7月15日から8月1日の投票期間で行われる。
2. 科研費審査員の推薦選挙が行われる。
3. PASJの補助金が今年度は420万円に増えた旨連絡があった。
4. 早川基金に再び佐藤明達氏より寄付があり、現在16件の応募がある。
5. 今年は名簿を改訂する年にあたる。関西支部と接触している。
6. 研究奨励賞が秋の年会まで継続になっている。会員に推薦を促す。

議事

1. 秋季年会

ア. アンケート集計結果

約210回収。詳細な報告はいずれ月報に掲載する予定。

イ. 講演申し込み方法

講演時間15分は「10分、質疑応答5分」の意味である。口頭15分、口頭3分+ポスター、口頭3分、ポスターの4種類を設ける。「口頭3分」の意味について議論があった。キャンセルは待ち時間とする。「口頭3分」は幾つかまとめて質疑応答を行う。プログラムに講演時間がわかるような工夫をする。

ウ. 公開講演会の科研費申請が認められた。講演アイデアを考えている。目下、STScI の人を招待できるか検討中である。

エ. 実行委員会は来年度以降理事会の正式機関にした。

2. 95 年春季年会以降の予定

春は東京学芸大, 3 月 23—25 日を予定している。秋は新潟大で 10 月 2 日の週。96 年の春は神戸大学(中川氏) が引き受けてくれることになった。

3. 研選委選挙

選挙名簿を作成して郵送する。被選挙権のない人が 18 人であることになる。特例は 3 人。投票率を高めるよう努力してほしい。

4. その他

ア. 定款ワーキンググループ活動報告

会員種別, 理事会と評議員会関係, PASJ の購読料の切離しが問題点となろう。唐牛氏が幹事となる。今理事会で会員のコンセンサスが得られるよう議論を進めたい。

イ. 科研費の審査員の推薦方法の改善

理事の推薦の修了時に候補者に承諾戴けるかを確認し, 評議員選挙に進むこととする。

日本天文学会早川幸男基金募集要項

日本天文学会 早川幸男基金 (若手海外学術研究援助基金) 内規に基づき*, 海外学術研究に対する援助者の募集 (1994 年度 3 期分) を以下の要領で行ないます。

1. 援助金総額 年間約 100 万円
2. 援助件数 年間数件程度
3. 募集対象機関 1994 年 10 月 1 日~1995 年 1 月 31 日の間に日本を出発するもの。また前回の応募時に間に合わずすでに渡航してしまった場合はその事情説明をつけて応募して下さい。
4. 応募必要書類 (A4 紙に統一すること)
 - (1) 応募用カバーシート (本誌 3 月号の応募用紙を A4 に拡大コピーして使用する)
 - (2) 論文リストおよび関連研究論文の写し (一編)
 - (3) 観測については, 観測割当通知および観測提案の写しかそれに準ずるもの
 - (4) 国際共同研究については, 渡航先の招聘状および研究計画の概要
 - (5) 研究集会参加については, 当該研究会開催の主旨を説明する資料, プログラム, および応募者の寄与 (口頭発表等) を証明するもの
 - (6) 大学院生の場合, 研究指導者の意見書
 - (7) 航空運賃の見積書
5. 応募締切 1994 年 9 月 10 日

6. 決定時期 1994 年 9 月下旬

7. 応募書類送付先

〒 181 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台内

日本天文学会 早川基金募集係

* 早川基金内規 (天文月報第 85 巻第 12 号参照) による援助対象資格は「日本天文学会会員で, 原則として 35 歳以下の天文学研究者であって, この基金以外の海外渡航費 (滞在費を除く) の援助を受けない者。」です。今年度はこの後, 12, 3 月の 10 日締め切りで募集を行う予定です。応募希望者は書類等の準備をしてください。

第 6 回 日本天文学会研究奨励賞受賞者の推薦について

本会は優れた研究成果を挙げている若手天文学者に対して, 日本天文学会研究奨励賞を授与しております。授賞資格は

イ. 日本天文学会会員で, 最近 3 年間における天文学への寄与が顕著なるもの

ロ. 当該年度内で 35 歳以下のもの

です。平成 6 年度の授賞候補者の推薦を受け付けます。ご承知の経緯 (通常総会報告) により春季年会では推薦候補者が甚だ少なく, 今回は会員皆様の喚起を促して再推薦し, 秋季年会に授与するものですのでよろしくお願い申し上げます。9 月 10 日 (必着) までに日本天文学会研究奨励賞選考委員会宛にご推薦下さい。

なお, その際, 主要論文リストも添付していただければ幸いです。選考結果は研究奨励賞内規—4. ハに従って, その候補者を評議員会に推薦致します。

参考: 第 1~5 回の受賞者は次の方々です。

- 第 1 回 長谷川哲夫 「螢光励起分子の研究」
吉田 春夫 「非線形力学系の研究」
- 第 2 回 須藤 靖 「銀河形成論と宇宙マッハ数テストの提唱」
- 第 3 回 山本 智 「実験室分光による星間分子の研究」—C₃H, C₄H の実験室分光と星間での発見—
- 第 4 回 峰重 慎 「降着円盤の不安定の理論的研究」
- 第 5 回 関口 真木 「汎用 CCD カメラ制御システムとモザイク CCD カメラの開発」

在外会員のみなさまへ

このたび天文学会では外国在住の会員を対象に、クレジットカードによる会費、ならびに年会参加費等の支払を受け付けることになりました。会費のカードによる支払を希望する在外会員は下記の書式に必要事項を記入し、当学会宛てにお送り下さい。なお、該当するカードは、VISA, Mastercard, American Ex.です（会計理事、事務局）。

連絡先：日本天文学会
 東京都三鷹市大沢 2-21-1
 FAX：81-422-31-1359
 電話：81-422-34-3648

氏名：
 天文学会会員番号：
 カードの会員番号：
 有効期限：
 金額

会費（該当に丸）	特別会員（一般）	18000 円
	特別会員（学生）	13000 円
	通常会員	8000 円

寄付 円
 合計 円

署名

秋季年会の宿泊・航空券について

宿泊案内（直接申込み分）

弥生会館（65名）S 5,000円より
 札幌市中央区北3条西12丁目
 TEL 011-271-2511

KKR札幌（120名）S 5,000円より
 札幌市中央区北4条西5丁目
 TEL 011-231-6711

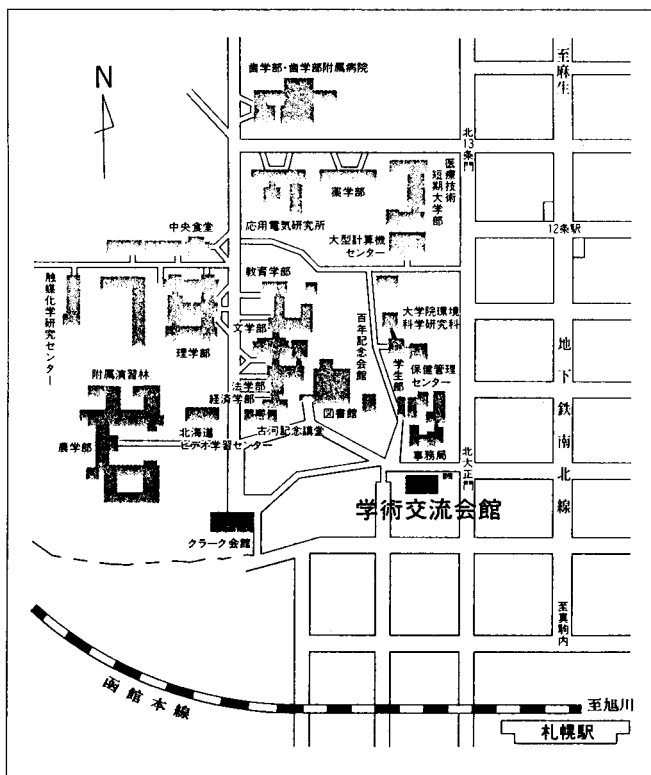
北海道ガーデンパレス S 8,000円より
 札幌市中央区北1条西6丁目
 TEL 011-261-5311

エルム会館（34名）S 5,500円より
 札幌市中央区北1条西7丁目
 TEL 011-231-1361

ホテルアカシア（112名）S 5,600円より
 札幌市中央区南12条西1丁目
 TEL 011-521-5211

ホテルメッツ S 6,500円より
 札幌市北区北17条西5丁目
 TEL 011-726-5511

ホテル北栄館 S 7,500円より
 札幌市北区北9条西4丁目（北大正門前）
 TEL 011-716-0156



航空券について

近畿日本ツーリスト（TEL 011-716-5522 担当高橋）が20%から30%割り引き航空券を用意します。航空便の詳細や申込用紙は各支部理事宛に送付します。（年会実行委員会）

宿泊・航空券の予約

宿泊・航空券の予約は近畿日本ツーリスト㈱に委託しています。予約ご希望の方は、次ページ申込書に必要事項をご記入の上、FAX もしくは郵送にてお申し込み下さい。

1. 航空券のご案内

往 路					復 路				
記号	月 日 曜	区 間	発 着 時 間	料 金	記号	月 日 曜	区 間	発 着 時 間	料 金
A	10/11 (火)	東京→札幌	15:30 / 17:00	16,000 (23,850)	a	10/14 (金)	札幌→東京	19:30 / 21:00	16,000 (23,850)
B	10/11 (火)	大阪→札幌	14:30 / 16:30	21,000 (31,750)	b	10/14 (金)	札幌→大阪	17:30 / 19:30	21,000 (31,750)
C	10/11 (火)	名古屋→札幌	14:00 / 15:30	19,000 (28,550)	c	10/14 (金)	札幌→名古屋	18:30 / 20:00	19,000 (28,550)
D	10/12 (木)	東京→札幌	09:30 / 11:00	16,000 (23,850)	d	10/15 (土)	札幌→東京	12:00 / 13:30	16,000 (23,850)
E	10/12 (木)	大阪→札幌	09:00 / 11:00	21,000 (31,750)	e	10/15 (土)	札幌→大阪	11:30 / 13:30	21,000 (31,750)
F	10/12 (木)	名古屋→札幌	09:30 / 11:00	19,000 (28,550)	f	10/15 (土)	札幌→名古屋	12:00 / 13:30	19,000 (28,550)

- *発着時間は予定ですので、変更となることがあります。
- * () 内の料金は通常料金です。
- *各指定便10名以上の申込みがあった場合に限り、この割引が適用されます。
なお10名に達しない場合10%割引(片道につき)となります。
- *確保している指定便(各便15~50名)は満員になり次第締切りますので、お早目にお申し込み下さい。

2. 札幌市内宿泊のご案内

- 宿 泊 日 平成6年10月11日(火)~10月14日(金)
- 宿泊条件・料金

単位:円

区 分 記 号	ク ラ ス	予 定 ホ テ ル 名	室タイプ	宿 泊 料 金
イ	シティー ホテル クラス	京王プラザホテル 札幌プリンスホテル 他	シングル	11,000 ~ 13,000
			ツイン	11,000 ~ 12,000
ロ	ビジネス ホテル クラス	ススキノグリーンホテル1 チサンホテル札幌新館 他	シングル	9,000 ~ 10,000
			ツイン	8,000 ~ 9,000
ハ	エコミー ホテル クラス	チサンホテル本館 チサンホテルすすきの 他	シングル	7,000 ~ 8,000
			ツイン	6,500 ~ 7,500

- *宿泊料金は、ホテル及び部屋タイプにより同一クラスでも異なりますのでご了承下さい。
- *ホテルの宿泊料金は、1泊朝食付・税金・サービス料込みのお1人様料金です。

3. 申し込みのご案内

- 申込締切日 平成6年9月5日(月)
- 申込書が弊社に到着しだい受付確認書を送付いたします。
- 料金は9月26日(月)までに金額を銀行振り込み又は現金書留にてご送付下さい。
- 料金には、1口につき通信費500円を加算させていただきます。
- 予約券はご入金後、送付いたします。

申込み先

〒060 札幌市北区北7条西4丁目 新北海道ビルチング1階
 近畿日本ツーリスト株式会社 札幌駅前支店
 「日本天文学会 秋季年会」係
 TEL (011) 716-5522
 716-5533 担当 信原・高橋(知)
 FAX (011) 716-5503

※この欄はコピーしてご使用下さい。

(当社記入欄)

日本天文学会 秋季年会
 航空券・宿泊・申込書

受付日	番号
/	No.

ふりがな 申込代表者氏名	-----	所属先名	
連絡先住所 (書類送付先)	〒	○印をして下さい (自宅・勤務先)	
電話番号	() - 内線	FAX番号	() -

(ふりがな) お名前	性別	年齢	航空機		宿泊 施設	宿 泊 日					
			往路	復路		種 別	10/11	10/12	10/13	10/14	
例) きんき たろう 近 畿 太 郎	男 女	45	A	d	イ	シ ン グ ル ツ イン	○	○	○	○	
----- 1	男 女					シ ン グ ル ツ イン					
----- 2	男 女					シ ン グ ル ツ イン					
----- 3	男 女					シ ン グ ル ツ イン					

記 事

指定便以外の便をご希望の際は、日付・区間・時間をご記入下さい。
 ※その他の手配(レンタカー・宿泊等)および市内有名郷土料理店の予約等もお受け致しますので
 ご記入下さい。